



氷見市役所の変遷

氷見市立博物館が収集・保管している資料のひとつに市域で撮影された写真があります。古いものには明治時代末頃のものがあり、新しいものには、昭和57年の開館以来、市域の調査で撮影してきた多数の写真が含まれます。

特に古い時代に撮影された写真は、地域の変遷や人びとの暮らしの移り変わりを知る上でも重要な資料です。

博物館では、「写真にみる氷見の昔と今」と題した特別展を過去2回開催しており、10月16日(金)からシリーズ3回目となる特別展が始まります。

この特別展では、古写真と、同じアングルで撮影した現在の写真を並べて展示し、まちの姿や風景、人々の暮らしの変化の様子を視覚的に紹介します。今回の「真ひみ未来遺産」では、氷見市役所を例に、各時代の写真を並べ、地域の歴史に想いをはせてみたいと思います。

左写真は、上から昭和13年の氷見町大火後に建設された氷見町役場(①)、その

町役場を転用した初代氷見市役所(②)、同地に建て替えられた二代目氷見市役所(③)、そして三代目となる現在の氷見市役所(④)です。

大火で焼失した町役場が、丸の内(当時の中町)に洋風の木骨鉄筋コンクリート造で再建されたのが昭和15年、その後昭和27年の市政施行の際に市役所として転用され、外壁は白く塗り替えられました。

昭和43年には同地に鉄筋コンクリート造5階建てで新たな市役所が落成しました。長らく市街地の象徴的な建物でしたが、駐車場が少なく、耐震性の不足もあり、移転を余儀なくされました。鞍川の現市役所は、閉校した旧有機高等学校体育館と校舎棟の一部を改装したもので、平成26年5月に開庁しました。

残された写真は、その時代その時代の市役所のあり方や、社会情勢まで写し取っています。そうした意味でも古写真は、それ自体が貴重な文化財といえるのです。



## 古写真にみる氷見の歴史

氷見市役所の変遷をたどる

【問合せ】 博物館 ☎74-8231

## 氷見市立博物館特別展

### 「写真にみる氷見の昔と今Ⅲ」— まちかどの記憶 —

【問合せ】 博物館 ☎74-8231

平成14年度、平成26年度に続き、シリーズ3回目の開催となる本特別展では、市内で撮影された大正期から昭和50年代頃の古い写真と、同アングルで撮影した現在の写真を並べて展示します。古写真に残された過去の氷見と現在のまちの姿を通して、時代の変化とともに受け継がれてきた氷見の姿を見つめます。

期 間 10月16日(金)～11月8日(日)

時 間 9:00～17:00

場 所 博物館 特別展示室

休館日 10月19日(月)・26日(月)・11月2日(月)  
※11月3日(火・祝)は臨時開館します。

料 金 無料

10月17日(土) 14:00～  
学芸員による解説会を開催します。(参加無料/申込不要)

【写真】 南中町本通りの変遷  
(上) 大正末年頃、(中) 昭和30年代、(下) 令和8年



## 風景と人をつなげる！ 景観まちづくりNEWSLETTER

【問合せ】 都市計画課 ☎74-8078

### 氷見市景観まちづくりシンポジウムを開催します！

市では、まちの玄関口にふさわしい良好な景観形成と賑わい創出を図るため、市景観計画を改定し、国道415号沿道(能越自動車道氷見ICから中央町交差点付近)を「シンボルロード地区」として景観形成重点地区に指定しました。

本シンポジウムでは、新たに設定された建築物などの景観誘導の仕組みをお伝えし、令和4年度以降の実証実験などに参加された市民の皆さんとともに、本地区の日常の景色や暮らしを楽しく、豊かにしていく活動を考えます。

一般の人はもちろん、事業者の参加もお待ちしております。ぜひ、会場へお越しください！

#### 「景観まちづくり」これまでの取組紹介



日 時 10月24日(土) 14:00～16:00

会 場 芸術文化館 マルチスペース

氷見らしいまちをまもる、いかす、つくる、ととのえる

第1部 ・基調講演 「生きた景観」とは何か  
—氷見らしさを育てる景観まちづくり—

【講 師】 藪谷祐介先生  
(富山大学学術研究部芸術文化学系講師)  
・景観計画改定の概要、景観形成基準などについて  
・パネルディスカッション

第2部

—はじめよう！景観まちづくり—  
【登壇者】 松木功太氏・穴倉明子氏・中孝司氏  
(景観ワークショップ・実証実験参加者)  
河出洋一氏 (芸術文化館館長)

【進 行】 藪谷祐介先生  
※一部変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

申 込 一般の人は当日参加可能。  
事業者は、入力フォームからお申込みください。  
(申込期限：10月20日(火))



入力フォーム

【写真】 ①オリジナルプランターづくり  
②国道415号沿道の建物を活用した交流イベント  
③ガードパイプを景観配慮色に塗り替える活動

### 男声合唱団ひみ第11回演奏会

日 時 10月18日(日) 開演14:00

場 所 芸術文化館 ホール

※入場券(座席指定)が必要です。

### 第40回民謡民舞まつり

日 時 10月25日(日) 開演13:00

場 所 芸術文化館 ホール

### 第46回合同茶会

日 時 11月8日(日) 受付8:30～13:30

場 所 茶道館 磯波風(比美町3-18)

※茶券(前売券)が必要です。

### 第47回氷見市総合芸能大会

日 時 11月15日(日) 開演13:00

場 所 芸術文化館 ホール

### 創元会富山支部氷見会員展

日 時 11月26日(木)～30日(月)  
9:00～17:00(30日は15:30まで)

場 所 芸術文化館 ホール

### 氷見川柳大会

日 時 10月24日(土) 10:00～16:00

場 所 漁業文化交流センター

### 謡曲大会

日 時 11月3日(火・祝) 13:00～17:00

場 所 芸術文化館 マルチスペース

### 第45回合同華道展

日 時 11月14日(土)・15日(日)  
9:30～17:00(15日は16:00まで)

場 所 芸術文化館 エントランスロビー

### 短歌大会

日 時 11月22日(日) 13:30～16:00

場 所 芸術文化館 交流室

### 能越太鼓の絆

日 時 12月6日(日) 開演10:30

場 所 漁業文化交流センター

入場無料

## 氷見市文化祭

【問合せ】 氷見市芸術文化団体協議会

☎74-8271

芸術の秋を満喫！秋のひと時を一緒に過ごしませんか。

8/12~26

能登半島地震の恩返し  
被災地・熊本へ市職員を派遣

市は、7月28日に発生した「令和8年熊本地震」の復興支援のため、8月12日から18日に職員1人、続く8月20日から9月1日に職員2人を熊本県宇城市へ派遣しました。

今回の派遣はそれぞれ「チームとやま相互応援協定」と環境省からの要請に基づいたものであり、派遣した職員は現地にて、避難所の運営や被災証明書の窓口対応、そして公費解体に係る事務業務に従事し、熊本の復旧・復興に向けて尽力しました。

従事した職員は、「被災地の体制から学び、今後市の防災体制作りにつなげたい。」「災害対応の実践的な知識や経験を学ぶことができる貴重な経験だった。」と熊本での活動を振り返りました。



8/22

爽快！見晴らしの丘で水遊び  
朝日山ウォーターパーク

朝日山公園見晴らしの丘にて、1日限定の水遊びイベント「朝日山ウォーターパーク」が開催され、多くの親子連れで賑わい、夏の涼を楽しむ姿があふれていました。

イベントでは、小ささまざまなプールや芝生の坂を利用したウォータースライダーが設けられたほか、参加者には水鉄砲がプレゼントされ、子どもたちが笑顔いっぱい水遊びを満喫していました。

今年度から、協力隊として中央町商店街の復興まちづくりの活動に携わり、解体範囲の実測調査や、古材活用活動を行っています。中央町商店街の公費解体が予定されている場所に活動で入ると、中には鉄筋コンクリート造とは思えないようなきれいな和室が残っており、屋上からは富山湾、立山連峰のきれいな景色が見えました。そうした建物の情報や、所有者や地域の人の思い出などをお聞きし、アーカイブとして残そうとしています。

また、東京で地域の緑化活動に携わっているシモキタ園芸部の人を復興まちづくり会議にお招きし講演をしていただくなど、今後の活動の参考となる事例の紹介や、復興に関する話し合いも支援しています。

記録として残すもの、次の場所へつなぐもの、そして新しく活用していくもの。様々な形で中央町の「これまで」を、「これから」につないでいければと思っています。

中央町商店街復興組合では、今後の公費解体跡地の管理や活用について、一緒に活動してくれる人を募集しています。私たちも楽しみながら活動していきたいと思っていますので、少しでも興味のある人は、ぜひ気軽に声をかけてください！



復興まちづくり会議の様子

地域おこし協力隊の活動報告vol.111

地域共同での循環型復興まちづくり

国本 春樹

主な活動場所  
中央町商店街

7/26~8/6

台湾の学生が市内で学ぶ  
中山大学西湾学院フィールドワーク

本市と国際交流に関する覚書を締結している台湾の中山大学西湾学院などの学生7人と教員1人が、市内にて今年度で4回目となるフィールドワークを行いました。学生たちは12日間の日程で、氷見市の歴史や文化、食に触れ、長坂地区の住民や氷見高校生と交流を深めました。

今年度は、台湾へのアウトバウンド誘客を目的として、台湾の観光PRイベントを漁業文化交流センターで行い、台湾の魅力や文化を紹介しました。ブースでは、台湾の伝統的な宗教施設「廟」で行われている「ポエ占い」コーナーが設置され、多くの来場者が珍しい体験に関心を寄せていました。

また、学生たちは今回のフィールドワークの中で「長坂地区を中心とした氷見市の観光周遊プラン」の作成に取り組み、8月5日の成果発表会では、観光プランの提案やフィールドワークの感想などを発表しました。



8/11

手作りハーブのワークショップ  
ひみ里山杉と被災古材を活用しよう！

ひみ里山杉と能登半島地震の被災家屋から古材レスキュー活動で救い出された板材を使い、オリジナルハーブ作りの親子ワークショップが行われました。

参加した親子らは、古材の香りや手触りを確かめながら、丁寧に組み上げ、ものづくりの楽しさや、資源を次世代へつなぐ大切さを学びました。

8/14

息をのむ幻想的な光  
AWADAMA Nigh Bubble Show

シャボン玉パフォーマーチーム「AWADAMA」によるナイトバブルショーが、夜の芸術文化館で開催されました。会場の青空広場には市内外から約2,500人が訪れ、無数のシャボン玉が夜空を幻想的に彩る様子に、来場者は息をのんでいました。子どもたちは、シャボン玉をつかもうと、両手をいっぱい広げ、大人も思わず笑顔になる、夢のようなひとときを楽しみました。

